

●新しい年を迎え皆様におかれましては益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

●さて12月議会では「今度はKEIO21の店舗閉鎖か？どうする市街地再生策」と「行政改革と職員の意識改革」について一般質問に立ちました。

空洞化の進む中心市街地でKEIO21が店舗を一次閉鎖してしまいました。昨年春から意志表示があり、この間、市や商工会議所、地元商店街等の要請もあり なんとか商業ビルのまま今春には再開のめどがたちつつあります。表向きにはイメージを損なわぬようリニューアルと銘打っておりますが、その背景には京王電鉄サイドが本市との歴史的なかかわりを重じて最悪の事態を回避できた事を見落とすと大きな問題を将来に残すと思うが市当局はどのように理解をしているのか？

大型店やベンチャー企業の進出にとかく閉鎖的な街の経済体質をあらためていかないと問題解決はできないと発言しました。

●行政改革の嵐の中で組合専従職員が増員されたり、本来組合交渉の対象とする事のできない管理運営事項（地公法55条の3）まで協議対象にしている事が多く見受けられ組合主導の労使関係ではないかと質したところ 市長は「法に沿って信頼関係の上で交渉しているだけ」と一蹴されてしまいました。しかし質問後、何人もの部課長から「よく言ってくれました」とお礼を言われ事の根深さを再認識しました。

●向こう10年の街づくりの基となる基本構想を審議する基本構想特別委員会が設置され委員長となりました。

下水道 100%や緑地保全、少子高齢化対策やバリアフリーの推進など時代に対応した構想を可決しました。しかし過去10年の旧構想をふり返ると行政能力をはるかに超えた世の中の変化があり、計画倒れや予算超過も多く「これからは執行段階での柔軟な対応と変化を敏感に感じ取る職員の育成だ」と力説しました。

10年後に責任を負うのは市長でも先輩議員でもなく私達世代だからです。

---

八王子市議会議員 萩生田 光一

平成11年2月

☎ 46-3008

☎ 46-3008

八王子市暁町1-33-4 (〒192-0043)

FAX 28-2468

事務所 FAX 46-3051

---